

～「よし!ごみを減らそう!」と思ってくれる人が一人でも増えるように願いを込めて～

4R通信 (第80号)

断わる リデュース ♪ 減らす リデュース ♪ 繰り返し使う リユース ♪ 資源化する リサイクル

10月は食品ロス削減月間です

食品ロスとは、まだ食べられる状態にも関わらず、そのまま捨てられている食品のことを指します。常滑市では、約1000トンの食品ロスが発生していると推計されており、単に「食べ物が無駄になる」という問題だけでなく、貴重な資源やエネルギー、そして環境への影響も含む重要な課題です。

食品ロス削減は私たち一人ひとりの小さな行動から始まります。食品ロス削減月間をきっかけに、家庭や職場での食品ロスを見直してみませんか。

ご家庭でもできる取り組みについて紹介します。

1 買い物前に 食材と期限を確認する

メモ書きやスマホで冷蔵庫のストックを記録してから買い物に行きましょう。



2 必要な分だけを買う

いつ食べるものかを考えて買しましょう。まとめ売りや特売品を衝動的に買わず、計画的に買しましょう。



3 期限表示を正しく理解する

『賞味期限』はおいしく食べる期限
『消費期限』は期限を過ぎたら食べないほうがいい期限です。



4 食べられる分だけ作る

調理の時には食べられる分だけ作るようにしましょう。また、食材が余った時には使い切りレシピを検索してみましょう。



★毎月0のつく日に、冷蔵庫をチェックする習慣をつけるのがお勧めです。

断る勇氣、減らす努力、ごみを出さないエコな生活

常滑市では、1人1日当たりの家庭ごみ排出量450gを目標としています。

【お問い合わせ】生活環境課 0569-47-6115